

日東産業 株式会社



代表取締役
三村 節夫

福井県
福井市二の宮4-30-13

1958年(昭和33年)設立
0776-27-6880

<http://www3.fctv.ne.jp/~nitto/>

ウレタンフォームの
カッティングマシン
専門メーカー

高い技術と経験の力でウレタンカッティングマシンの高精度化の挑戦を続け、国内シェア70%を占める。

ユーザーの要望が技術の礎

ウレタンフォームの出現とともに、歩み続けて50年、常にユーザーからの要望に応えるべく、技術を磨き、縦切り、水平切り、テーパ切り等、様々な形状を製作し得る機械の開発に取り組み、現在その特質を持った機械は13種類に及び、専用機を入れればそのラインナップが広がる。

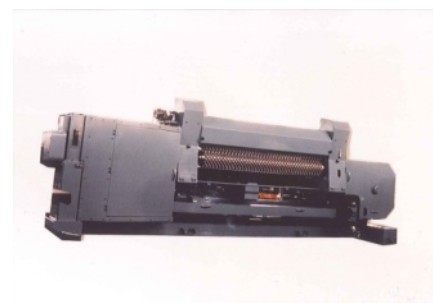
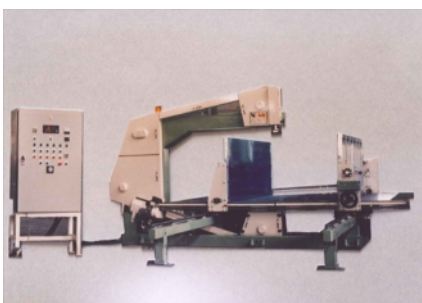
うすさの追求と軟質フォームの反発を利用した三次元形状加工

近年ユーザーの精度要望は車輛を中心に厳しい精度が求められ、特にスライス精度は、ウレタンブロックサイズ 1,500m/m×2000m/mに対し、2m/m±0.2m/m以内を要求されることもある。又、マットレスなどに利用される三次元形状の凹凸加工（プロファイル加工）は表面形状の限りない均一化が求められることがある。それらに対し、構造技術、刃の研磨技術などの更なる改良に取り組み、成果を挙げている。



二次元加工機の開発

現在、開発に取り組んでいる曲線加工機は、NC装置付、キャド対応の二次元カッティングマシンである。従来、人の手で経験を要する複雑形状加工が、安全でより高精度に製作可能となる機械を目指している。



オンリーワン 道路雪氷関連センサー

世界を目指す

山田技研 株式会社

福井県
福井市花堂南2-5-12

1989年(平成元年)設立
0776-36-0460

<http://www.yamada-giken.co.jp>



代表取締役社長
山田 忠幸

融雪電力50%削減・気象/路面状況センサーの情報をWebで活用。
車載式路面塩分濃度計/非接触路面熱収支計の実用化。

オンリーワン気象/路面センサーで世界を目指す

米国・ヨーロッパ等で特許成立、降雪や凍結を0°C基準に冷熱量で計測する冬期気象センサーと非接触で乾燥/湿潤/積雪/凍結危険等の路面状況を判断する路面状況センサーを組合せ、融雪制御と気象/路面状況の情報を配信するシステムは世界に先駆けたもので、国内約130箇所で活躍している。

国を超えて広く技術を紹介、学会等を通じ冬期気象を冷熱量で計測する考え方を世界に発信している。

(路面状況センサー) (冬期気象センサー)



新たな雪氷関連技術

1. 車載塩分濃度計

路面凍結防止剤(塩化ナトリウム)の路面残留濃度を測定する車載式塩分濃度計は世界的オンリーワン製品であり、海外市場を視野に入れた展開を目指す。現在、国内の高速道路で約40台稼働している。

2. 非接触路面熱収支計

路面凍結の要素、地熱量と気象で奪われる熱量の収支を非接触で計測し凍結の予測に活用できる。世界に先駆けた新しい概念のセンサーとして販売を開始した。



車載塩分濃度計



非接触路面熱収支計